

新しい科学教育の拠点づくり 次世代型の科学教育を目指して

杉並区は、広く子どもから大人まで世代を超えて身近な場所で科学に親しみ、生涯にわたって学べる機会や環境の整備などを進めます。



学校理科室等への出前授業

理科指導員が各学校を訪問し、学校の理科担当教員とともに授業を行うことで、実験・観察学習等の充実を図ります。

杉並子どもサイエンス・グランプリ

これまで行ってきた科学創意工夫展の開催方法を改善し「杉並子どもサイエンス・グランプリ」として実施することで、これまで以上に多くの方々にご覧いただけるようにします。

中学生フューチャー・サイエンス・クラブ

未来の科学を体験しながら学ぶ機会として夏季休業中に新しい科学教室「中学生フューチャー・サイエンス・クラブ」を実施します。

地域の科学教育

学校の理科教育

身近な場所での科学教育や天文学習

身近な地域の施設等に出向いて、サイエンス・ワークショップ等を実施します。移動式プラネタリウムや移動式天文台車による観望会も、区内各所で行い、気軽に参加できるようにします。

体験型の科学博覧会事業を開催

科学特別展や、生活に身近な科学実験を気軽に体験することができる「(仮称)サイエンス・フェスタ」など、新たな科学博覧会事業に区民等との協働で取り組みます。

次世代型科学教育の拠点等の検討

未来を追求し、最先端の科学を提供できるような事業のあり方や拠点などについて、専門事業者等との協働による調査研究等を進めます。



世代を超え 身近な場所で 科学に親しむ

科学は私たちの暮らしと密接にかかわり合っています。それらは生命・環境・自然等の身近なものから、数億光年もの遠い宇宙のこともあれば、何億年もの昔の化石から学んだり、未来を予測する最先端の科学に触れることもあります。このように、時間的にも空間的にも膨大な広がりを持つ科学の全てを学校教育だけで学ぶことは不可能です。

子どもにとっても大人にとっても、身の回りの事象に親しみ、興味を持って科学を学ぶことは、より豊かな生活の実現にもつながります。このため、広く子どもから大人まで、世代を超えて身近な場所で科学に親しみ、生涯にわたって学び続けることができる機会や環境を整備することは大変重要なことです。

老朽化した現在の科学館は閉館することになりますが、

これまで行ってきた科学館の事業を済美教育センターと社会教育センターが継承し、新たな事業を加え、さらに発展・充実させてまいります。

ICTやデジタル技術の発達により、地理的・時間的な制約を受けずに様々な地域や世界と繋がり、交流や情報交換ができるようになりました。こうした情報通信技術をめぐる状況は、今後ますます進展することでしょう。科学館に代わる「新たな科学教育の拠点」は、未来を追求し、常に最先端の科学を提供できるところでありたいと考え、専門事業者等と協働し、調査研究を開始いたしました。

どうぞ、杉並区の科学教育の一層の充実と、これから取り組む次世代型の新しい科学教育の拠点づくりにご期待ください。



教育長 井出隆安

学校における理科教育の充実

児童・生徒にとって「理科」がより興味ある教科となり、科学的に考えたり、表現したりする力が更に向上することを期待して、学校教育に関わる支援事業は、平成 27 年 4 月から済美教育センターで行います。

★理科指導員等による出前授業の実施

★理科室における実験授業



カエルの解剖

対象学年	学習内容例
小 3	電気の通り道
小 4	すがたをかえる水
小 5	電磁石のはたらき
小 6	コイの解剖
中 1	状態変化
中 2	カエルの解剖

★体育館における移動式

プラネタリウムを活用した授業

学年	単元名	学習内容例
小 4	月と星	月の動きや星の動きなど
小 6	月と太陽	太陽・月の位置と満ち欠けの関係など
中 3	地球と宇宙	宇宙の広がりや地球の公転・自転など



移動式プラネタリウム内の様子

★杉並子どもサイエンス・グランプリの開催

	実施方法	実施時期 (予定)
小学校	図画工作作品展、連合書き初め展と合同開催	平成 28 年 2 月
中学校	中学校連合文化祭展示部門と合同開催	平成 27 年 11 月

★新たな科学教室等の実施

- ★中学生フューチャー・サイエンス・クラブ
- ★「土曜授業」「土曜日学校」等を活用した科学体験機会の創設

現在の科学館の施設について



杉並区立科学館は、小中学校の理科教育の一端を担う「科学教育センター」として、昭和 44 年 (1969 年) に開設し、平成 14 年 (2002 年) に生涯学習機能を加え、「科学館」と名称を改めて、科学の学校教育・生涯学習の拠点として親しまれてきました。しかしながら、施設・設備の老朽化により、平成 27 年 4 月からは、常設展示見学と講堂等の貸出のみとし、平成 28 年 3 月に閉館します。

なお、科学館閉館後の跡地については、区立施設再編整備計画の中で、区民福祉の向上を図るため、行政需要等を踏まえて、有効な活用策を検討します。

地域における科学教育の新たな展開

学校以外での科学教育事業については、現在も様々な生涯学習事業を実施している社会教育センター (セシオン杉並) などで行います。広く子どもから大人まで世代を超えて科学に親しみ関心をもって学べるよう、平成 27 年 4 月から新たな事業を実施します。

★友好都市・北海道名寄市から、「ポラリスⅡ」がやって来る!



移動式天文台車「ポラリスⅡ」

なよろ市立天文台「きたすばる」から、「ポラリスⅡ (移動式天文台車)」が来て、大型望遠鏡による観望会を各地域で実施します。

★科学特別展の開催



来年春休みに予定の「スポーツを科学する」

夏休みや来年の春休みに、子どもも大人も楽しめる体験型展示を、「公益財団法人 日本科学技術振興財団・科学技術館」から区内に招致して実施します。

★移動式プラネタリウム等を身近な施設で



移動式プラネタリウム

区民に身近な施設に向いて、移動式プラネタリウムや子ども、大人、親子などを対象としたサイエンス・ワークショップ等を実施します。

問合せ：地域の科学教育に関すること…
 社会教育センター ☎ 03-3317-6621
 学校教育に関すること…
 済美教育センター ☎ 03-3311-0021
 科学館閉館後の跡地利用に関すること…
 施設再編整備担当 ☎ 03-3312-2111